

第59号 発行日 平成25年1月

日頃、地域医療連携にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。  
 2012年の診療報酬・介護報酬同時改定では、「地域包括ケア」の構築のため、在宅医療が手厚く評価されるようになりました。県南地域でも在宅医療を支援している地域医療機関が増加しています。

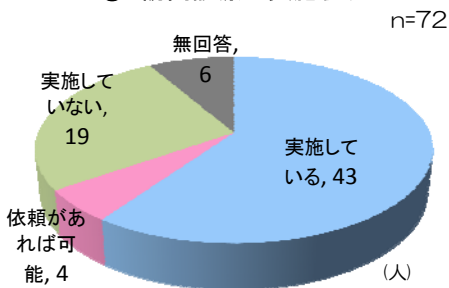
今回は、在宅支援に関するアンケート結果の一部をご報告いたします。

地域医療連携室 大沢 知佳

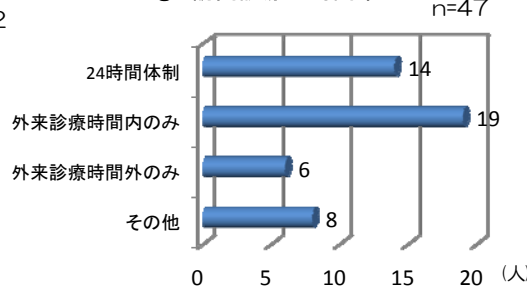
## 在宅支援に関するアンケート調査

1. 調査目的 地域医療機関の在宅支援の現状を把握する
2. 調査期間 平成24年10月9日～23日
3. 調査対象 横手・湯沢・大仙地区の地域医療機関 配布数 123
4. 調査結果 回答数 72 (横手地区 34 湯沢・大仙地区 38) 回答率59%

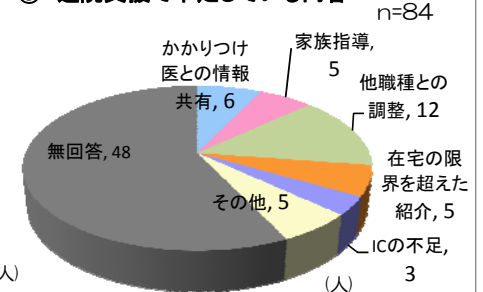
① 訪問診療の実施状況



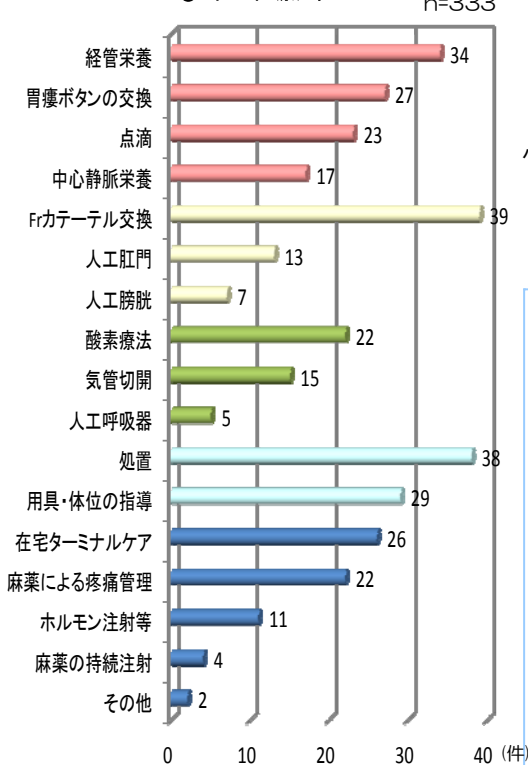
② 訪問診療の時間帯



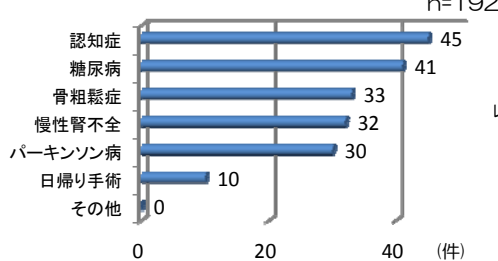
③ 退院支援で不足している内容



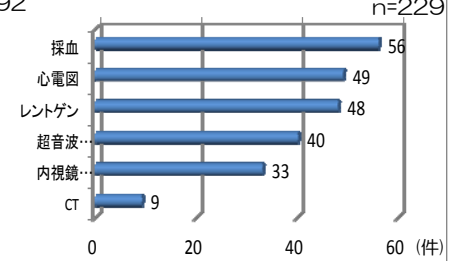
④ 在宅医療処置



⑤ 疾患に対する治療内容



⑥ 実施している検査



### ＜在宅医療に関する意見＞ 一部抜粋

- ・ 緊急時のバックアップをお願いしたい。
- ・ 今後、訪問看護が必要な方が増加すると思う。
- ・ 診療所で行う医療行為は限られており、オンデマンドにまた早めに対応を行う意味でも、訪問看護との連携が不可欠。
- ・ 身障者手帳の申請書等の書類は退院時に書いてほしい。
- ・ 食事摂取状況・栄養状態をもっと詳しく知りたい。
- ・ 在宅支援に関して勉強会を開いていただき、up to dateを維持したい。
- ・ 貴院の場合は、範囲・規模が大きくなるので、在宅診療について、明解かつ公開されたシステムを構築してほしい。

今後、高齢者やがん患者さんの在宅支援が多くなることが予想されます。訪問看護師・ケアマネージャー・地域包括支援センターとの連携を強化し、多職種での退院時カンファレンスの開催や、地域にあった在宅支援システムの構築を検討していきたいと思っております。